



2019 新春
vol.30

TAKE FREE
ご自由に
お持ち下さい



(降り立つ瞬間)

理念

私たちは、高い技術と温かい心を持って、医療・介護を提供し、地域社会の発展に貢献します

基本方針

1. 患者様中心の良質な医療と介護を提供します (良質な医療と介護)
1. 医療・介護の安全に最大の注意を払います (医療・介護の安全)
1. 地域の医療機関や介護サービス機関と連携し、地域医療・介護の充実に貢献します (地域連携)
1. 全職員は常に最新の医療・介護の研鑽に努めます (研鑽)

亀岡病院 第4回公開健康講座 開催 参加無料

実施日 平成31年 3月24日(日) 場所 ガレリアかめおか

講演時間 14:00~16:00

テーマ 認知症と脳卒中について知ろう

今回は、超高齢社会を迎えたわが国で問題となっている認知症と脳卒中について、それぞれの専門医から最新の情報をお伝えします。また、認知症に対する亀岡市の取り組みや脳卒中の原因となる動脈硬化を予防する亀岡病院での治療についてもお話をさせていただきます。

新年のごあいさつ



会長
大槻 秋司

平成最後のお正月、皆様には如何お迎えになりましたでしょうか。私たちは本年も医療と介護、緊密に連携して市民の皆様のお役に立てるよう努めます。本年もよろしく願いいたします。



理事長
大槻 克一

新年あけましておめでとうございます。当院は、今後も地域の皆様に信頼され、その信頼に真に応えられる病院を目指します。本年が皆様にとって健やかな一年になりますよう祈念いたします。



院長
細川 了平

明けましておめでとうございます。今年も、平成最後の年であり、また5月1日からは新しい元号となり、その始まりの年でもあります。新たな時代となっても、皆様に信頼される「地域のかかりつけの病院」として、職員一同努力する所存です。今年も、昨年と同様に、亀岡病院を宜しく願いいたします。



院長代行
楠岡 茂宏

昨年は、急性期や在宅診療など多くの医療機関の方々にサポートを賜り、深く感謝いたしております。今年も緩和を中心とした総合医療を一步一步究めてゆきたいと考えています。本年も、なにとぞよろしくお願い申し上げます。



副院長
牧 和夫

明けましておめでとうございます。昨年は災害の多い年でした。今年一年の皆様の健康をお祈りしますと共に、世界が平和であることを願います。本年もよろしく願いいたします。



特任顧問
山崎 英彰

明けましておめでとうございます。昨年は、多くの方に当院で医療を受けていただき大変嬉しく思っています。今年も皆様に満足していただけるように努力して参りますのでよろしくお願い申し上げます。



診療部長
大川 克則

新しき年の始めの初春の 今日降る雪のいや重け吉事 皆様にも吉事が重なりますようにお祈りいたします。本年もどうぞよろしく御願いいたします。



リハビリセンター長
整形外科 部長
元津 雅彦

新年あけましておめでとうございます。昨年は地震や台風といった自然災害が目立った年でした。今年も、少しでも良い年になる様願ってやみません。本年もよろしくお願い申し上げます。



透析センター長
泌尿器科 部長
藤井 秀岳

新春のお慶びを申し上げます。当院泌尿器科並びに透析センターは、本年も一貫した『地域に根差した医療』を邁進します。『猪突猛進』だけでなく、堅実な医療を目指しますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



神経内科 部長
森 信人

あけましておめでとうございます。地域医療に貢献できるよう、研鑽をつみ、患者様に適切な医療を提供できるよう精進していきます。本年もよろしくお願い申し上げます。



看護部長
下村 加代子

新しい年が皆様にとりまして、幸多き年となりますよう心よりお祈り申し上げます。私達は看護・介護の質の向上を目標に掲げ、地域の皆様に貢献できるよう努力してまいります。本年もよろしくお願い申し上げます。



事務長
藤田 幸久

新年おめでとうございます。いよいよ平成から新しき時代が変わるこの節目の年を迎えました。その将来の礎が築ける1年となるよう努力してまいります。本年もどうぞ宜しく願いいたします。

外来担当医表 (平成31年1月1日現在)

		月	火	水	木	金	土	
内科	午前 (9:00-12:00)	①診	循環器・内科 細川	呼吸器・内科 山崎	循環器・内科 細川	呼吸器・内科 山崎	呼吸器・内科 山崎	糖尿病・内科 牧① 総合内科 大川②④⑤
		②診	糖尿病・循環器 大槻克一	糖尿病・循環器 大槻克一		総合内科 楠岡	糖尿病・循環器 大槻克一	肝臓 上田②④ 糖尿病・循環器 大槻克一③
		③診	循環器・内科 高橋	糖尿病・内科 牧	総合内科 大川	糖尿病・内科 牧	もの忘れ・脳神経 森	
		⑤診	総合内科 大川	もの忘れ・脳神経 森		膠原病・腎臓 福島	総合内科 大川	
		⑦診		消化器・内科 中島	もの忘れ・脳神経 森			
	夜間 (17:00-19:00)	呼吸器・内科 山崎	もの忘れ・脳神経 森	総合内科 大川	糖尿病・内科 牧	消化器・内科 布居		
	整形外科	午前 (9:00-12:00)	元津	元津	元津	元津	元津	
	夜間 (17:00-19:00)	元津			元津			
脳神経外科	午前 (9:00-12:00)			大山				
皮膚科	夜間 (17:00-19:00)					府立医大		
泌尿器科	午前 (9:00-11:30)			藤井				
眼科	午後 (13:30-16:00)				府立医大	担当医		
禁煙外来	午後 (12:00-13:00)	細川		細川				
もの忘れ外来	午前 (10:30-12:00)		森			森		
腎不全外来	午後 (13:30-15:30)		藤井					

※数字①②などは、①：第1週 ②：第2週を意味します。

- 内科医師の主な専門分野を表記していますが、一般的な内科疾患はいずれの医師でも対応いたします。(赤字は女性医師)
- 日・祝・祭日および4月17日、8月14日、12月29日～1月3日は全科休診いたします。
- 第3土曜午前に糖尿病・循環器外来を開設いたします。
- 当院は予約優先制となっております。



医療法人 亀岡病院 TEL (0771) 22-0341 (代) FAX (0771) 22-4305
〒621-0815 京都府亀岡市古世町3丁目21番1号 E-mail kamekame@oak.ocn.ne.jp

診療科目 内科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、神経内科、腎臓内科、リウマチ科、整形外科、脳神経外科、リハビリテーション科、泌尿器科、皮膚科、眼科、放射線科

亀岡病院 検索 <http://www.kameokahp.com>

京都府保健医療功労者の表彰を受けました 理事長 大槻 克一

平成30年11月12日、京都府公館レセプションホールにて、京都府知事西脇隆俊様より「京都府保健医療功労者」の表彰をしていただきました。

「京都府保健医療功労者」とは、保健医療、救急医療及び看護業務に関し、その功績が特に顕著である個人又は団体を表彰することによって、その努力と功績をたたえるとともに、関係者の意識の高揚を図り、もって保健医療、救急医療及び看護行政の推進に資するため京都府知事が表彰するものです。

今回の表彰は、高い技術と温かい心を持って医療・介護を提供し、地域社会の発展に貢献するという理念の下、日々努力をしている医療法人亀岡病院の職員全員の功績が認められたものと考え、たいへん喜ばしく思っております。



これからも医療法人亀岡病院は、患者様、利用者様、ご家族に尊厳と慈しみの心をもって接し、皆様に信頼感と満足感を感じていただける医療・介護サービスを提供できるよう努力してまいります。



表彰後 西脇知事様と

新任医師紹介 ごあいさつ



整形外科 医師
別府 徹己

所属学会・資格
日本整形外科学会専門医
日本運動器リハビリテーション学会認定医

この度 整形外科の土曜日外来を担当させていただくことになりました別府徹己と申します。私は昭和47年に京都府立医科大学を卒業後、当時南丹病院と呼ばれていました現在の京都中部総合医療センター整形外科で、約一年半の初期研修を履修いたしました。45年ぶりにこの地に帰って参りましたが、周りの風景の変わりようにびっくりしているところです。初期研修後、滋賀県大津市にあります大津赤十字病院へ転籍。大津日赤は滋賀県の基幹病院で、外傷をはじめ、整形外科医として学ばねばならないあらゆる症例を経験させて頂きました。その後、鹿児島県、山口県の病院を経て京都に戻って参りました。

当院の方針として手術的治療はなされないと聞き及んでいますので、手術の必要な症例と不要な症例を厳密に判断して患者様の治療の手助けができるよう、最善の努力をいたしますのでどうか宜しくお願いいたします。

看護のシゴト体験

京都府看護協会では、看護することや人の命について理解と関心を高める機会を提供するため、「看護の日」の事業として「ふれあい看護体験」を実施しています。対象は中学生以上の生徒、学生および一般府・市民です。亀岡病院では高校3年生1名に体験をしていただきました。1日だけでしたが、白衣を着て患者様とコミュニケーションをとったり、リハビリテーションの見学をしたり、人形を使った救命処置や採血の体験などもしていただきました。緊張しながらも楽しそうに積極的に体験されている姿に、私達の方が刺激を受けた1日になりました。



学生さんの体験後の感想
たくさんの貴重な体験をさせて頂き、本当に有意義な時間でした。将来看護師になりたいと強く思えたので、今まで以上に受験勉強を頑張りたいです。

平成30年 11月16日(金) 糖尿病教室を開催しました

あなたの腎臓は大丈夫? ~糖尿病性腎症について~ 講師: 透析センター長 泌尿器科部長 藤井 秀岳



今回の糖尿病教室にて、慢性腎臓病と糖尿病性腎症について講演を行いました。日本の糖尿病患者数は1000万人以上といわれており、国民10人に1人以上の割合となっています。一方、慢性腎臓病の罹患率は国民約8人に1人といわれており、1300万人以上の患者数にのぼります。この、慢性腎臓病の定義ですが、「慢性に経過する全ての腎臓病であり、症状の有無は問わない」となっています。両疾患ともに、無関心ではいられない、とても身近な病気であることがお分かりいただけましたでしょうか?

採血で測定する糸球体ろ過量 (eGFR) の値(低ければ要注意!)によって、慢性腎臓病のステージ分類を行う。糖尿病性腎症の病態は腎臓内の小血管障害によるところが大きいので、定期的な尿検査で、腎臓のダメージを見分ける必要がある。

②食事療法は、減塩やカロリーに気を遣いながらも、バランスよく摂取することに心がける。食べる順番は野菜やタンパク質から摂取して、最後に糖分を摂取することにより、食後高血糖が抑えられる。③出された薬はできるだけ正確に内服する。体に合わない場合は主治医と相談するといった内容でした。

できるだけ解りやすくお話ししたつもりですが、日常生活において疑問に思うことや不安があれば、毎週火曜日の腎臓病・腎不全外来を受診してください。

『早期発見、早期治療』の重要性

最後に、糖尿病にしる、腎臓病にしる、症状がないから治療の必要性がないわけではなく、症状がない内に、しっかりと治療をして、その進行と合併症を予防することがとても重要です。ある程度病気が進行すると、時間経過と共に確実に悪化の一途をたどる場合が多いことも覚えておきましょう。

さて、今回の内容は、①腎臓の働きについて(腎臓の形態やその働きについて)、②慢性腎臓病について(腎臓病の検査や腎機能の見方について)、③糖尿病性腎症について(糖尿病の合併症である細小血管障害から糖尿病性腎症に至る機序など)、④日常生活の注意点(食事療法、運動療法、薬の重要性)について主に解説いたしました。

具体的には、①検尿や採血で腎機能障害を判定する。特に、

ワンポイント講座

糖尿病の予防改善について、「最新の糖尿病薬」、「糖尿病性腎症の予防」、「運動の習慣化」の説明をしました。教室では毎回、ワンポイントアドバイスや簡単に行うことができる運動を紹介しています。ご興味のある方は、どなたでもご参加ください。



レクリエーション「クリスマス会」

4階病棟看護師長 西原 さえ子

亀岡病院は、3階病棟(一般病棟)58床と4階病棟(療養病棟)50床があります。比較的病状の安定されている患者様が多い療養病棟では、入院中でも穏やかに、そして楽しく過ごしていただけるように、月に3~4回ゲームや歌などのレクリエーションを企画しています。12月はクリスマス会を計画しました。ボランティアの「四葉のクローバー」の皆様にご協力いただき、大正琴の演奏会を行う事にしました。食堂談話室をクリスマス仕様に飾り付け、総勢30名の患者様やご家族に参加していただきました。クリスマスに因んだ曲や懐かしい歌謡曲などを大正琴に合わせて歌い、楽しい演劇を笑顔で鑑賞



されている様子を見ることができました。普段は明るい表情の少ない患者様が手をたたいたり、歌を口ずさんだりされる様子に、スタッフの気持ちも和らぐ、楽しいひと時を過ごすことができました。今後も当院の理念である、「温かい心」をもって医療・介護を提供していきたいと思っております。

